

～幼児期の終わりまでに育ってほしい姿でつなぐ～

「スタートカリキュラム」編成・実施のために



○新学習指導要領における幼稚園・保育所等と小学校との接続について

平成29年3月に告示された小学校学習指導要領の総則において、学校段階等間の接続の重要性が示されました。そこには、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導を工夫することにより、幼稚園教育要領等に基づく幼児期の教育を通して育まれた資質・能力を踏まえて教育活動を実施し、児童が主体的に自己を発揮しながら学びに向かうことが可能となるようにすること。」と明示され、幼稚園・保育所等と小学校とが、幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を通して、より円滑に接続することが大切であることが示されました。

○「スタートカリキュラム」とは、どのようなものですか？

小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育所・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ちを基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムです。

「スタートカリキュラム スタートブック」文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 平成27年1月

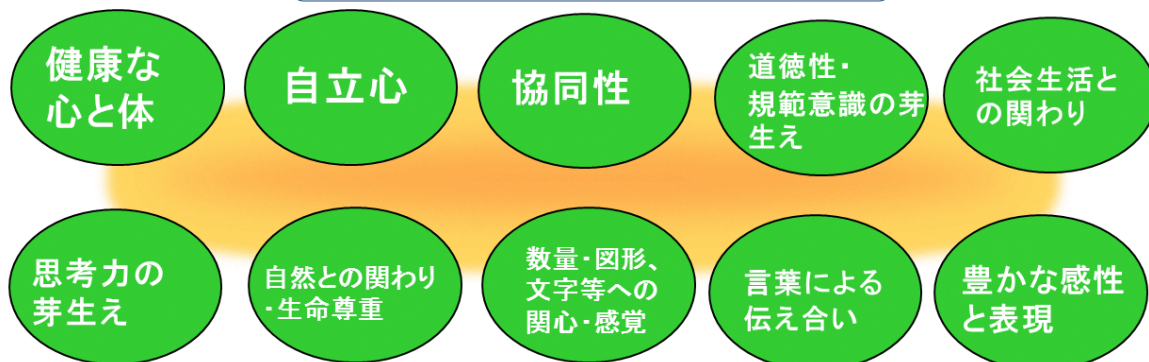
入学当初は、幼児期の生活に近い活動と児童期の学び方を織り交ぜながら、幼児期の豊かな学びと育ちを踏まえて、児童が主体的に自己を発揮できるようにする場面を意図的につくることが求められます。

生活科は、幼児期の教育と小学校教育を円滑に接続する重要な役割を担っています。

○「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」とは、どのような姿ですか？

幼児期の教育においては、幼児の自発的な活動としての遊びを中心とした生活を通して、一人一人に応じた総合的な指導を行っています。幼児期の遊びは学びそのものであり、遊びを通して達成感や満足感を味わったり、葛藤やつまずきなどの体験をしたりすることを通して様々なことを学んでいます。こうした日々の遊びや生活の中で資質・能力が育まれている姿を、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」として以下のようにまとめられています。是非、幼稚園教育要領等該当部分をご覧ください。

「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」



○「スタートカリキュラム」の編成について

「新幼稚園教育要領のポイント」文部科学省

平成29年3月に告示された学習指導要領の第1章総則第2の4の(1)では、「(前略)特に、小学校入学当初においては、幼児期において自発的な活動としての遊びを通して育まれてきたことが、各教科等における学習に円滑に接続されるよう、生活科を中心に、合科的・関連的な指導や弾力的な時間割の設定など、指導の工夫や指導計画の作成を行うこと」として示されました。よって、各学校でスタートカリキュラムを作成していく必要があります。まずは、実態を把握することが必要です。幼稚園、保育所等と、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点として情報共有を行いましょう。

◆◆「スタートカリキュラム」チェックリスト◆◆

1. 作成にあたって ～3月までに～

(1) 幼児の発達や学びを理解する

- 幼稚園・保育所等への訪問をして、馴染んだ活動や実態の把握につとめましたか？
- 幼稚園・保育所等の教職員と「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を視点として情報交換（意見交換・要録等）を行いましたか？

(2) 期待する児童の姿を共有する

- 1年担任だけでなく、校内組織を立ち上げスタートカリキュラムを作成しましたか？
- 保護者にスタートカリキュラムの意義等を説明しましたか？
- 実施期間を検討しましたか？



(3) スタートカリキュラムをデザインする

- 単元の構成において、体験活動や友達との関わりの重視、児童の意識の流れを大切にしていますか？
- 生活科を中心とした合科的・関連的な指導の工夫により、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出すとする児童の姿の実現を目指していますか？
- 生活科と各教科等との単元の関連が単元配列表に明記されていますか？

○学校教育目標から見た、子どもの成長の姿を週や月の単位で明らかにし、期待する姿を明記している。

- 1年後の期待する姿が考えられていますか？
- 学期ごとの期待する姿が考えられていますか？
- 月のねらい（期待する姿）が一覧に明記されていますか？
- 週のねらい（期待する姿）が一覧に明記されていますか？

○子どもの発達を踏まえ、時間割や学習活動をくふうしている。

- 20分や15分程度のモジュールで時間割を構成するよう工夫していますか？
- 操作や活動のある学習を行う等工夫していますか？



<第1学年 単元配列表(例)> ※あくまで例です。各校の実態に基づき、単元配列表を作成してください。

各教科等	第1週	第2週	第3週	第4週	第5週
国語	あいうえおであそぼう				
	よろしくね	みつけたよ	はるのあさ	ことばのひみつ	あめのひ
算数	なかまづくりとかず	くらべよう	かずとすうじ	なんばんめ	いくつといくつ
	がっこうだいすき みんななかよし				
生活					おおきなあれ
音楽	うたでなかよし		おんがくにあわせて		
図画工作	すきなもののいろいろ	じぶんマーク	こんなことあったよ	ねんどであそぼう	すなやつちとあそぼう
体育	からたほぐし	ゆうぐあそび		おにあそび	
道徳	げんきにあいさつ	みんなでつかうもの		ともだちとなかよく	いきものとなかよし
特別活動	入学式	1年生をむかえる会			
	げんきにあいさつ	たのしいきゅうしよく	おしごとたのしいな		

<月案：作成例> ※あくまで例です。各校既存の入学当初の週案をもとに一覧表を作成してください。

平成〇年度 ☆☆小学校 4月 スタートカリキュラム(月案)

4月のねらい	<ul style="list-style-type: none"> 学校や一日の生活の流れを知り、学校生活に期待感と安心感をもてるようになる。 学校にいる人は、皆自分たちを支えてくれることに気付き、学校生活に安心感をもてるようになる。 学校の環境に関心をもち、学校に対する愛着を高める。 ルールやマナーを守って学校探検ができるようになる。 		
週	第1週(4/8~12)	第2週(4/15~19)	第3週(4/22~26)
週のねらい	安心して登校し、学校での生活の仕方やきまりを知り、意欲的に学校生活をスタートする。	学校の生活のリズムを知り、慣れる。 ・先生や友達を知り、かかわりを広げる。	学校の環境に関心をもち、自分の役割を知り、果たそうと努力する。
生活科を核とした単元	「たのしい いちにち」 ・学校の一日の生活の流れについて知り、安心感をもって学校生活が送れるようにする。	「がっこう だいすき」 ・学校探検をし、学校の設備、人に関心がもてるようにする。	「がっこう だいすき」 ・探検をして気付いたことや知りたいこと等を出し合い、それについて調べていく。
学活	・学習のきまりを知り、きまりをまもって学習しようとする。	・給食の準備や片づけ方を知る。 ・給食当番での役割を知り、慣れる。 ・掃除の仕方を知る。	・下校の班が分かり、並んで下校できる。 ・自分たちだけで安全に下校する意識を高める。
国語	「よろしくね」 ・言葉づかいに気を付けてあいさつをする。 ・友達に知ってもらいたいことを考え、自己紹介をする。 ・ひらがなの書き方を知り、正しく書く。	「みつけたよ」 ・話すときは、「～です。」と最後まで話す。 ・聞くときは手をおろして相手を見て最後まで聞く。 ・正しい鉛筆の持ち方を知り、自分の名前を書く。	「あいうえおであそぼう」 ・語のまとまりや言葉の響きなどに気をつけて音読する。 ・ひらがなの書き方を知り、正しく書く。
算数	生活科を中心に、各教科等との合科的・関連的な指導となるよう、その関連を一覧表に整理します。	「かずとすうじ」 ・5までの数が表せるようになり、5までの数字を正しく書く。	「かずとすうじ」 ・10までの数が表せるようになり、10までの数字を正しく書く。
音楽	「うたでなかよし」 ・友達と一緒に、知っている歌を歌ったり、体を動かしながら楽しく歌ったりする。 ・歌を知り、明るく元よく歌う。	「うたでなかよし」 ・友達と一緒に、知っている歌を歌ったり、体を動かしながら楽しく歌ったりする。	「うたでなかよし」 ・友達と一緒に、知っている歌を歌ったり、体を動かしながら楽しく歌ったりする。

月のねらい(期待する姿)を明記します。

生活科を中心に、各教科等との合科的・関連的な指導となるよう、その関連を一覧表に整理します。



週のねらい(期待する姿)を明記します。

ねらいと照らし合わせて、留意点や配慮事項を記録しましょう。

<週案：作成例>

週のねらい	・学校の生活のリズムを知り、慣れる。先生や友達を知り、かかわりを広げる。					
日	4/〇(月)	4/〇(火)	4/〇(水)	4/〇(木)	4/〇(金)	備考
朝の活動	「なかよくなるう」	「なかよくなるう」	「なかよくなるう」	「なかよくなるう」	「なかよくなるう」	<ul style="list-style-type: none"> 朝の会から1時間目を連続した時間とし、幼児期に親しんできた遊びや活動を取り入れ、教師や友達との関わりを広げるとともに楽しい気持ちで1日が始まるようにする。 生活科を中心に、つながりのある教科のねらいを考え合科的・関連的な指導を行う。主体的な学習活動をゆったりとした時間の中で進めていけるように、2時間続き等の学習活動を位置付ける。 5校時は児童の発達の特性に配慮し、具体的な活動を伴う学習活動を位置付ける。
1校時	・手遊び・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	・手遊び・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	・手遊び・お話読んで ・お話聞いて ・歌って踊ろう	・手遊び・お話読んで ・お話聞いて ・本がたくさん	・手遊び・お話読んで ・お話聞いて ・本がたくさん	
2校時	「がっこうだいすき」 ・自己紹介をしよう (国「よろしくね」2/3) ・がっこうのはてなやびつ	「みつけたよ」 ・ひらがな(国2/3) 「くらべよう」・数を比べよう(算1/3)	「みつけたよ」・ひらがな(国2/3)「はるのあさ」 リズムに合わせて読もう(国1/3)	「がっこうだいすき」 ・遊具で遊ぼう (体「ゆうぐあそび」1)	「あいうえおであそぼう」・ひらがな(国2/3) 「はるのあさ」・聞き合おう(国1/3)	
生活科を中心とした学習活動	「はるのあさ」を見つけてよう(生1と1/3)	「はるのがっこう こんにちは」 ・春と遊ぼう(生2)	「10までのかず」 ・数えてみよう(算1)	見つけたものを数えてみよう(算「10までのかず」1)	「10までのかず」 ・絵を見て数えよう ・数字を書こう(算1)	
教科等を中心とした学習活動	「はるのあさ」(国2/3)「ななか」 ・大作戦」・みんなで楽しく給食を食べてよう	「はるのあさ」 ・みんなで遊ぼう	「はるのあさ」 ・みんなで遊ぼう	「はるのあさ」 ・みんなで遊ぼう	「はるのあさ」 ・みんなで遊ぼう	
昼	「はるのあさ」 ・みんなで遊ぼう	「はるのあさ」 ・みんなで遊ぼう	「はるのあさ」 ・みんなで遊ぼう	「はるのあさ」 ・みんなで遊ぼう	「はるのあさ」 ・みんなで遊ぼう	

安心を作る時間

生活科を中心とした学習活動

教科等を中心とした学習活動

弾力的な時間割の設定など、時間の流れなども考えてみましょう

- ・20分や15分程度の短い時間での時間割の構成
- ・2時間続きでの学習活動の設定など

○安心して自ら学びを広げる学習環境を整えている。

□子どもが安心感をもち、自分の力で学校生活を送ることができるような学習環境の設定について明記されていますか？

～学習環境の設定例～

- 自由に遊べる時間や場所が用意され、自分で活動を選び自分から取り組めるようにする。
- 一日の予定や活動の手順が文字や絵、写真などで提示され、見通しをもち安心して活動できるようにする。
- 入学当初は園と同じような生活空間を意図的につくる。
- 学びの足跡を掲示し、それを見ながら次の活動の意欲を高めたり、自分から進んで活動したりできるようにする。
- 教室の前の掲示や板書はシンプルでわかりやすくし、子どもの混乱を防ぐようにする。



等

□長期の休業（連休・夏季休業等）明けの学校生活への適応について考慮して作成しましたか？

2. 実施にあたって ～1年生の入学前に～

□スタートカリキュラムの意義を全教職員が理解していますか？

□スタートカリキュラム スタートブック（文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 平成27年1月）に全教職員が目を通しましたか？

□発達や学びをつなぐスタートカリキュラム スタートカリキュラム導入・実践の手引き（文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程研究センター 平成30年4月）に全教職員が目を通しましたか？

□校内の情報共有や共通理解ができていますか？



3. 実施にあたって～入学当初～

□学級担任だけでなく、全教職員で協力体制を組み、見守り、育てていますか？

□入学当初は、複数の教職員が1年生の教室に入ることができるよう学校全体で時間割を調整していますか？

□学級だより・懇談会などで、子どもが学習に取り組む姿をエピソードで保護者に伝えていますか？

4. 実施にあたって～年間を通じて～

□取組がねらいに沿っているか、子どもの姿で日々評価していますか？

～評価例～

- 子どもの姿を週案などに記録する。
- 子どもの書いたものや作品を使って評価する。
- 様々な立場から子どもの様子を捉え評価する。
- 園の先生に参観してもらい評価する。

等



□学年会などで、子どもの成長する姿や指導方法について情報交換していますか？

□職員会議などで、全教職員で実施状況を共有していますか？

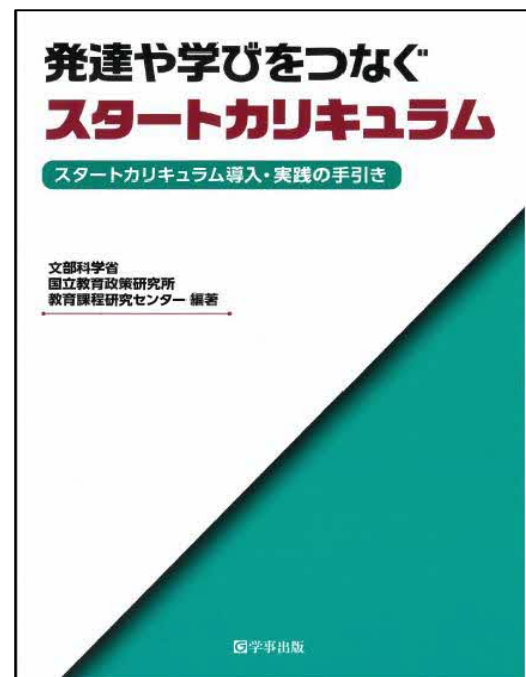
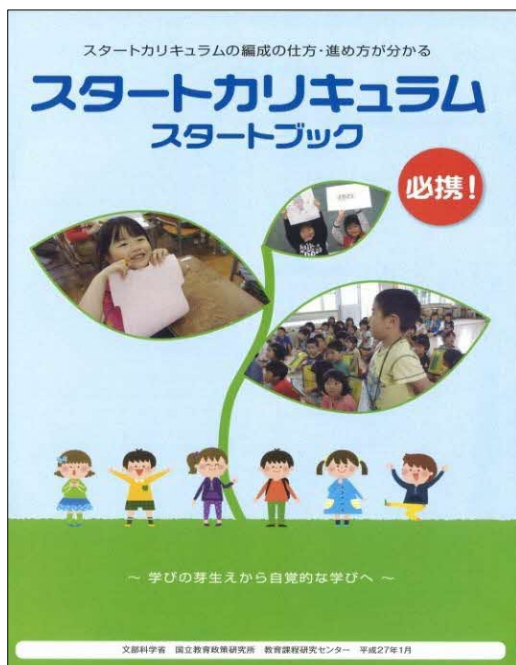
5. 次年度に向けて

- 1月から3月にかけて、次年度のスタートカリキュラムの改善を図っていますか？
- スタートカリキュラムの成果や改善点を整理しましたか？



スタートカリキュラムの編成・実施にあたっては、週案、月案が要件を満たしているだけではなく、その作成の過程での幼稚園・保育所等の教職員との情報交換や、学校内、保護者及び地域の方々との共通理解、環境づくりが重要です。

各校の実態に合わせ、管理職のリーダーシップのもと、編成・実施していきましょう。



※参考

スタートカリキュラム スタートブック
(文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程
研究センター平成27年1月)

発達や学びをつなぐスタートカリキュラム
スタートカリキュラム導入・実践の手引き
(文部科学省 国立教育政策研究所 教育課程
研究センター 平成30年4月)

※国立教育政策研究所 HP からダウンロード
することができます。